

## 最優秀賞

中学生部門〈手術・病気〉

松山市立西中学校1年

綾田 健志

## 挑戦

「来年の夏休みに、全身麻酔で両耳の鼓膜再生手術を行います」

CTや聴力、耳の穴の中の映像を見て母と相談した結果、先生がそうおっしゃった。これで三度目の全身麻酔。僕は鼓膜以外にも二か所手術をしている。

最近になって両親から聞いた話だが、手術のたびに母が、

「代われるものなら代わってあげたい」

と、言っていたそう。その言葉を聞いて父は、

「お母さんは無理だ。健志だから頑張れるんだ」

と言ったそう。

僕は母が陣痛で苦しんでいる時、陣痛に耐えられない赤ちゃんかもしれないと先生に言われた。だけど自然分娩で生まれてきた。

生まれた後の検査で心臓に穴があいていると言われたが、いつの間にか心臓の穴はふさがっていた。

僕は歩くのが他の赤ちゃんより遅くて、筋力が弱いから歩けないかもしれないと先生に言われたが、今は走ることもできる。持久走も苦手だけど、決してビリではない。

その他にも、僕は色々な奇跡を起こした。そのたびにみんな驚き、喜んでくれた。僕は生きている。生かされている。見た目は細くてか弱いかもしれないけど、本当はとても強いかもしれない。

僕はまだ若いから、色々な事に挑戦できる。他の人よりとても不器用な僕。だから何をしても、一番になる事は無いと思う。一番になれなくてもいいから、自分なりに何に対しても一生懸命頑張ろう。やりたい事を沢山見つけよう。

とりあえず鼓膜の穴がふさがったら、耳栓なしで泳ぎたい。シャワーを浴びたい。